

ねん ねん ねん
1年・5年・6年の
じゅぎょうさんかん じっし
授業参観を実施！

16日(金)の授業参観をもって、すべての学年の授業参観が終了しました。保護者のほぼ9割ほどの参観をいただいております。学校のありのままの姿、普段通りの状況を見ていただきました。ご参観、ありがとうございました。

ある保護者の方は、連絡帳に以下のような感想を書いていただきました。



しゃかいけんがく さんかんび おやこ たの
社会見学、参観日、とても親子で楽しめました。ありがとうございました。どちら
も、とてもワクワクしていたようで、その話題で、何日も楽しめました。
じゅんび いま なんばい たいへん せわ
準備も、今までの何倍も大変ですよ。お世話になりました。

ありがたい限りです。コロナの話が巷にあふれている日常だからこそ、当たり前前の日常、当たり前前の学校生活が実現できるよう、頑張っていきたいと考えています。

こくさいきょうしつ ほごしやかい かいさい がつ か すい
国際教室の保護者会を開催！〔10月14日(水)〕



がいこくにつながる子どもたちの保護者に集まっていたいただきました。教育委員会から先生をお招きし、小学校卒業後の進学ルートや社会人となつてからの正規職員と非正規職員との給与の違いや、進学していくうえで小学校の勉強の大切さ、子どもを支える保護者の寄り添い方等についてお話をいただきました。質問も寄せられ、大変充実した保護者会となりました。

- とてもよかったです。聞いたことは、どれも大事だと思えますが、“母語を大切に”という話は、とても大切だと思いました。
- いろいろなことがわかりました。将来に向けての視野が広がりました。子どもの成長のためには、学校と家族のつながりは、とても大切だと思えます。
- 有意義な話でした。できれば次に中学校に向けての保護者会をしてほしいです。大学に進学するために何をすればよいか教えてほしい。

生活綴り方 ～修学旅行を終えて～

□『意外ないちめん』

ぼくは、修学旅行でみんなの意外な一面を知ることができた。例えば、Aさん。Aさんは、宿についてすぐにしおりを開けてみんなに声をかけてくれた。Bさん。Bさんは、オン/オフの切りかえがすごく早い。買い物やスペイン村などで時間に余裕があるときは、楽しく話すが、時間がせまると「あと25分。10分前行動をしたら、あと15分」とより正確に伝えてくれた。

ぼくは、このようなことをみんなが意識して発信したから、修学旅行がスムーズになったと思う。そして、このような一面を普段でも知りたいし、知ってほしいと思った。

➡ 旅行の目標の一つをしっかりと達成できました。素晴らしいです。

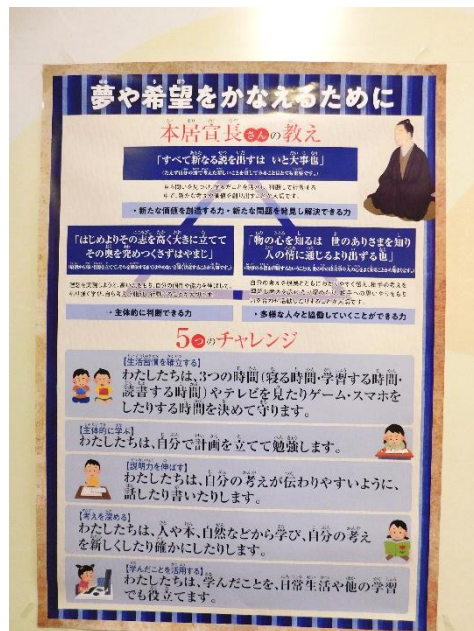
□『楽しかった～』

私が、修学旅行から帰ってきて「ただいま！」と言って家に入ると、お母さんが、「お帰り！」と言って私の方に走ってきた。すると「どんなん買ってきたん？修学旅行楽しかった？ホテルどうやった？ピレネー乗れた？」といっぱい聞いてきた。

「全部言うのは、この一言を言ってから。」と思ったから、大きい声で「楽しかった！」と言った。そしたら、お母さんだけじゃなくて、お父さんもきて「何が楽しかったん？」と聞かれた。「そんなん、全部楽しかったに決まっとるやんか！」

そして、私は、めっちゃ疲れたのか、その後、ばたんと寝落ちした。その次の日、なぜかお腹が痛かった。たぶん、それは、疲れすぎたに違いない！

➡ お家の人たちの気持ち、様子が、目に浮かぶようです。



3年 社会見学を実施！

10月8日(金)、雨の中、白子漁港・魚魚鈴、鈴鹿市中央消防署へ出かけました。白子漁港では、どんな魚が水揚げされるのか、どんな漁が中心にされているのか、白子漁業協同組合の組合長さんから教えていただきました。

次に、魚魚鈴では生きた魚やカニを見せていただき、茶畑をバスの車窓から見学し、午後は、鈴鹿市消防本部を見学しました。救急車の中にのせてもらったり、ポンプ車や防火服等についても、教えていただいたりしました。



